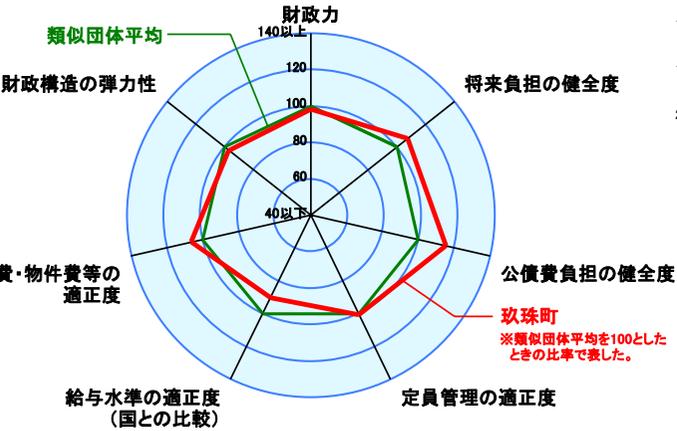
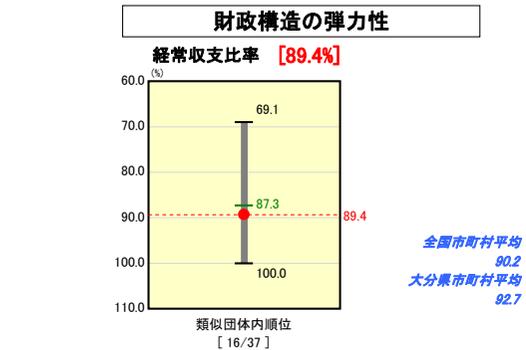
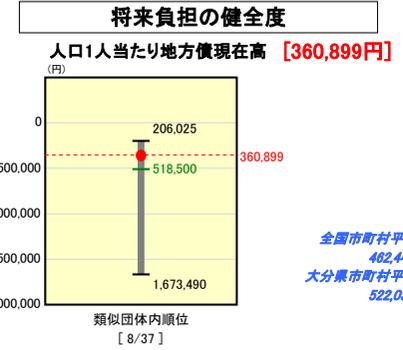
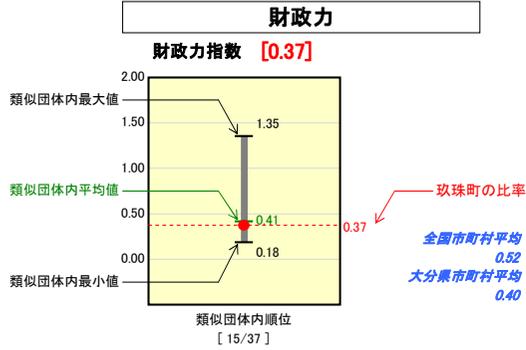


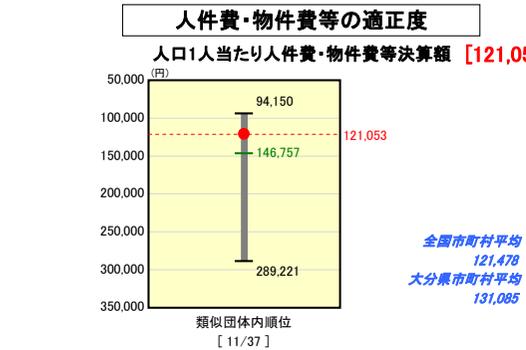
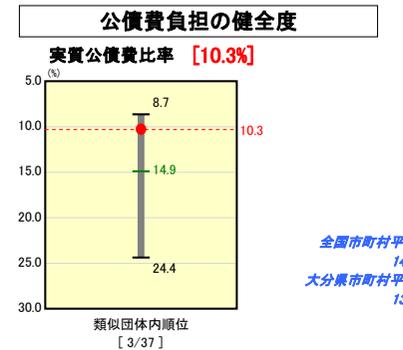
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

大分県 玖珠町

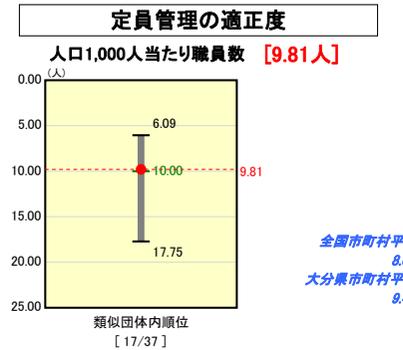
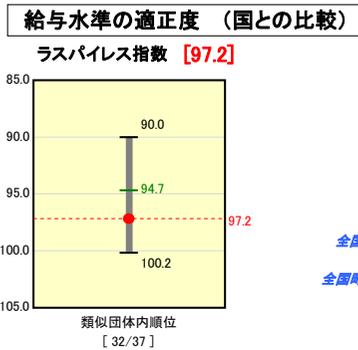
人口	18,759	人(H18.3.31現在)
面積	286.44	km ²
歳入総額	7,970,239	千円
歳出総額	7,685,002	千円
実質収支	261,759	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

【財政力指数】 景気が回復しているとはいえないものの、地方においては回復の兆しが見えず、個人・法人住民税が伸び悩んでいる。また、人口の減少等に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、0.37と類似団体平均を下回っている。町税等の収入確保、使用料・手数料の見直しを中心とする歳入確保に努め、財政基盤の強化を図る。

【経常収支比率】 歳入は臨時財政対策債の減少、歳出は物件費・扶助費・繰出金等の増加により、対前年度比0.6%上昇の89.4%となっている。全国及び大分県内市町村平均は上回っているものの、類似団体平均を下回っており、扶助費・繰出金等は増加傾向にある。今後も事務事業の見直しを更に進め、人件費等義務的経費の削減、各種団体への補助金の削減等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、指定管理者制度の活用等により、経常経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 全国市町村平均とほぼ同額であるが、物件費については増加傾向にあるので歳出の見直しを行い削減を目指す。人件費については職員数の削減により減少する見込みである。

【ラスパイレズ指数】 以前の給与制度は年功的な体系となっていたが、国の給与制度に準じて制度を導入し、職務・職責に応じた構造への転換を図った。職員給与のカットや手当等の見直しにより適正化に努めている。

【人口1人当たり地方債現在高】 全国市町村平均等を下回っているが、年度末における現在高は増加傾向にある。地方債発行額の上限枠設定、発行の抑制等により、類似団体の平均を上回ることがないよう財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】 一部事務組合のごみ処理・し尿処理施設の公債費償還等により数値が上がっているが、類似団体と比較するとかなり良好である。今後も、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 集中改革プランにより平成30年の人口を15,000人として、職員数を200人から50人以上削減する。事務事業の見直しや組織機構の改革、5年毎の推計による不補充等により達成することを目指している。平成20年度までに15名以上の職員数を削減する目標は前倒して達成することができたが、全国市町村平均からすると上回っており、一層の努力が必要である。